



# [公財] 日本太鼓財団

## NIPPON TAIKO FOUNDATION

### 会報

発行・編集 2012年 7月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: [info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)

## 第16回日本太鼓チャリティコンサートを開催 「日本介助犬協会」の事業活動を支援



(フィナーレ)

6月5日(火)、恒例となった日本太鼓チャリティコンサートを草月ホール(東京都港区)にて開催いたしました。

このコンサートは日本財団の助成事業として行われ、今回は「社会福祉法人日本介助犬協会」の事業活動を支援するために実施いたしました。「日本介助犬協会」は病気や事故などで身体に障害をもたれた方の生活の手助けをするために、訓練を受けた介助犬の認知向上や普及啓発を目的とした活動を行っています。

会場には、「日本介助犬協会」の活動を紹介するパネルが展示され、また実際に1頭の介助犬が受付に待機し、大勢のお客様にも動じない姿に会場のお客様は微笑まれました。

当日は各国の在日大使、政・官・財界及び各分野で活躍されている方をはじめ、約300名の方々にご出席いただきました。

開演に先立ち、主催者を代表して塩見和子理事長、共催者を代表して「日本介助犬協会」橋本久美子会長のご挨拶の後、当財団加盟800団体から選ばれた3団体に加え、昨年11月に開催された「第8回日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝いた長谷川義氏、80歳で準名人を獲得された佐藤貞夫氏、また本年3月に開催された「第14回日本太鼓ジュニアコンクール」の優勝チームである「輪島・和太鼓虎之介」の合計6団体による演奏が行われました。

まず、「福島県合同チーム」(福島)は東日本大震災の被災地双葉町の標葉せんだん太鼓保存会を含めた4団体での息の合った演奏を披露しました。「氷上共鳴会氷上太鼓」(岩手)は、男女混合チームで飛んだ

り跳ねたりと元気いっぱいな演奏でした。この2チームが使用した太鼓は東日本大震災で被害を受け、日本財団より支援していただいたものです。「打鼓音」(神奈川)は桶胴太鼓を中心としたリズムカルな楽しい演奏でお客様を楽しませました。続いて「輪島・和太鼓虎之介」(石川)の演奏です。ジュニアコンクールにおいて2006年に続いて2度目の優勝を勝ち取った子供たちの真剣な表情と迫力に、観客の皆様から惜しみない拍手が沸き起こりました。次はシニアコンクールで準名人を獲得した「越前権兵衛太鼓」(福井)の佐藤貞夫氏がユーモアあふれながらも円熟味ある演奏を披露し会場は笑いに包まれました。最後はシニアコンクール名人位の長谷川義氏と「豊の国ゆふいん源流太鼓」(大分)が勇壮な大太鼓を中心としたパワフルな演奏で、観客の皆様を圧倒し、全ての演奏が終了。フィナーレは、出演者全員が舞台上がり、塩見理事長の音頭でお客様とともに恒例の手締めで閉演となりました。

コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並び、会場出口では「輪島・和太鼓虎之介」の送り太鼓でお見送りしました。観客の皆様は、太鼓に元気をもらったと喜んでおられました。

皆様のご協力により、1,034,837円の募金が集まり、全額を「日本介助犬協会」にお渡しいたしました。同協会では、介助犬の普及活動などに役立てたいと言われておりました。

ご来場頂いた皆様並びに出演者の方々に心より感謝申し上げます。

#### <出演団体>

1. 福島県合同チーム(福島)
2. 氷上共鳴会氷上太鼓(岩手)
3. 打鼓音(神奈川)
4. 輪島・和太鼓 虎之介(石川)  
\*第14回ジュニアコンクール優勝チーム
5. 佐藤貞夫・越前権兵衛太鼓(福井)  
\*第8回シニアコンクール準名人位
6. 長谷川義と豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)  
\*第8回シニアコンクール名人位

**\*「日本介助犬協会」よりご寄稿いただきました。**

日本介助犬協会 会長 橋本 久美子

このたびは日本太鼓チャリティーコンサートの共催者として選んでいただき、介助犬育成・普及活動への暖かいご支援を頂戴致しましたことに心よりお礼申し上げます。

当会は2004年に社会福祉法人として認可を受け、手や足に障がいのある方の日常生活のお手伝いをする介助犬の育成を行っております。2009年には愛知県長久手市に介助犬総合訓練センターを開所し、現在は東京と愛知の2拠点での活動を行っております。2002年に超党派の議員立法により身体障害者補助犬法が成立いたしました。本年は、法成立10周年の記念すべき年であり、その年に日本太鼓財団様と出会えたことにご縁を感じております。

コンサートでは、東日本大震災で大きな打撃を受けた福島県や岩手県からのグループの力強い演奏や、シニアの方々の若々しく楽しい演奏など、大変心に響く太鼓の音色を聴かせていただきました。演奏者の方々が、日本・そして各地の伝統文化を継承し、音を通してその心を伝えようとしてくださっている姿に大変感銘いたしました。

当日の募金総額は、1,034,837円となりました。介助犬の育成は希望者の障がいに合わせてオーダーメイドに近い形で訓練を進めていくため、時間もお金もかかる事業でございます。しかし、そのほとんどは寄付によって賄われております。今回皆様から頂戴したご寄付は、私共の介助犬育成に大切に使用させていただきます。まだ全国に約60頭しかない実働犬を1頭でも増やしていけるよう、今後も引き続き尽力してまいります。

この場をお借りして、当日のご来場の皆様と日本太鼓財団の役職員の方々に礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



(挨拶をする橋本会長)



(打鼓音・神奈川)



(輪島・和太鼓 虎之介・石川)



(佐藤貞夫氏・福井)



(長谷川義と豊の国ゆふいん源流太鼓・大分)

\*「福島県合同チーム」、「氷上共鳴会氷上太鼓」よりご寄稿いただきました。

### 福島県太鼓連盟 副会長 渡辺 徳太郎

このたびの「第16回日本太鼓チャリティコンサート」に福島県から4団体で編成する合同チームを出演させていただき心から御礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、太平洋沿岸の東北地方と関東地方に大きな災害をもたらしました。長い大きな揺れと建物や自動車、人をも飲み込んだ津波は地獄絵図そのものでした。自然の営みとは言えあまりにも大きな犠牲に、新たに立ち上がる気力さえも奪い去ってしまったような気がしております。特に福島県はその後の福島第一原子力発電所の事故によって長年慣れ親しんだ故郷まで奪われ、三重の苦しみに喘いでおります。

そんな中、全国の太鼓仲間の方々にはいち早く安否確認の電話をいただき、励ましの言葉や貴重な浄財までいただきましたこと、この紙面をお借りして心より厚く御礼申し上げます。どれほど勇気づけられましたことか測り知れません。

また、日本財団からは被災した太鼓全部にご支援を賜り、福島県におきましては98台の太鼓の購入と1台の太鼓修理の援助を賜りました。先の見えなかった心に大きな光が差し込み、各団体とも大きな希望と先に進む勇気をいただきましたこと、心から御礼申し上げます。

こういった折、このチャリティコンサートに福島県の被災した団体のうち、安達太良太鼓保存会、岩代國郡山うねめ太鼓保存会、愛宕陣太鼓連響風組、標葉せんだん太鼓保存会の4団体から11名の打ち手が集まり、福島県太鼓連盟合同曲「大地の響き」を演奏させていただきました。

特に故郷を奪われてしまった双葉町の標葉せんだん太鼓保存会から2名の参加を得ましたことは意義深いものがございます。

にわか作りの合同チームで大変不安でしたが、太鼓を打つ者同士の心意気を感じながらの演奏に胸に熱いものごみ上げてきました。

お客様からは温かい拍手と励ましのお言葉をいただき、このような素晴らしいコンサートに出演することができ日本太鼓財団の皆様へ厚く御礼申し上げます。



(福島県合同チーム)

### 氷上共鳴会 会長 鈴木 武幸

東日本大震災から1年3か月が過ぎようとしていた去る6月5日、第16回日本太鼓チャリティコンサートへ参加させていただき、誠に感謝申し上げます。

あの震災の日、私たちの故郷「岩手県陸前高田市」は多くの悲しみに襲われました。『絶望』とはこのことかと痛感しました。しかし、その後は日本全国、世界各国からたくさんの救いの手が差し伸べられ、前を向いて歩きだせる勇気を頂きました。少しずつ確実に進んでいこうという気持ちになりました。立ち直るきっかけを頂いた皆さんにどうやって感謝の気持ちを伝えることができるか、生き残った会員で考えました。考えた末にたどり着いたのは、我々には太鼓しかないということ、日本財団の皆さんからご支援して頂いた太鼓を命の鼓動が続く限り打ちこんで、被災地の底力を発信していくことでした。

それ以来、多くの太鼓仲間とともに避難所や仮設住宅での慰問演奏を皮切りに活動を再開し、今この時も和太鼓に打ち込んでいられることに感謝しております。

津波被災地ではガレキを集積しているだけで撤去にはほど遠く、復旧途中であり復興の足掛かりを待ち望んでいます。その中で氷上太鼓ができることは和太鼓演奏と共に東日本大震災の被災地の現状を発信し続けることだと思っております。私たちの演奏をご覧いただき、そして被災地のことを思ってください。届けたいことが私たちの使命だと感じております。

被災地の復興が進み、被災した皆さんに笑顔が戻るその日を目指して、和太鼓の持つ勇気、元気、感動を発信し続けられるように、そしてご支援くださったすべての方の気持ちに報いるためにこれからも頑張っ前を向いていきます。

特別な機会を与えていただき、どうもありがとうございました。



(氷上太鼓・岩手)

\*ジュニアコンクールに来日したブラジル・台湾チームより感想文をいただきました。

ブラジル「クリチーバ若葉太鼓」

演奏メンバー 村上ジュリアナ冨美

ブラジルを出発して日本に着くまで実感が湧かなかった今回のコンクール参加の旅は、自分達のルーツである日本の国へ早く着きたいという熱望から、着いた途端、緊張に変わりました。

みんなの期待、応援に対して、責任を痛感していましたがそれと同時に、精一杯頑張る事がそれに対しての御礼だと思っていました。

不安、心配、責任、今回の色々な体験が自分自身を成長させてくれたと思います。

そしてその体験をもって、今後のブラジルでの太鼓の活動のお役に立ちたいと思います。練習、他チームとの交流、観光、全てにおいて素晴らしい時間を過ごす事が出来ました。

塩見理事長のお話、心の中に大事にしまっています。これからも、ブラジルの太鼓活動がより良いものになっていく為に頑張ります。

最後に、大きな夢をかなえてくださった全ての人たちに心から感謝します。有難うございました。

演奏メンバー パチリャ本多マリアネ幸栄

日本に行く事は多くのブラジル人にとって夢です。ブラジル太鼓大会で優勝を成し遂げた…という気持ちですが、今回の努力、そして責任を果たすという思いにつながりました。

期待に添えるような結果を頂き、そこに関わってくださった全ての人たちに心から感謝しています。

出発から帰り着くまで、それは飛行機、ホテル、食事、出会った人たち、何から何まで素晴らしいものでした。今まで使ったことのない太鼓での演奏、特別指導、素晴らしい観光、今思い出しても夢のような今回の体験は一生忘れることはありません。

有難うございました。

台湾「天祥太鼓団」代表 陳麗玉

親愛なる仲間、お友達、こんにちは！

私たちは皆様と同じく太鼓が大好きです！太鼓のお陰でお会い出来、一緒に演奏する事ができました。皆様とはお友達になることが出来ました。日本太鼓財団のご協力により、素晴らしいチャンスをいただき、心から御礼を申し上げます。

今年台湾太鼓協会の代表になった天祥太鼓団は2000年設立から11年の年月が立ち、やっと台湾代表になる事ができ、日本太鼓ジュニアコンクールへの切符を手に入れました。

日本全国代表チームの素晴らしさに触れ、子ども達は目標や責任感を持ち、自分に自信を持つようになりました。今回の経験を台湾のみんなに伝え、台湾太鼓の未来の発展に努力し、人々の心が太鼓の鼓動と重なればと思います。

コンクール本番では演奏者達は、初心に帰って、全力投球、一気呵成、臨場の震撼！感動！衝撃！言葉では言い尽くせません。きっと演奏者は皆、熱愛太鼓の心で太鼓演奏を十分表現できたと思います。多くの団体を鑑賞し、打法、技術などを食い入るように見ていました。

塩見理事長を始め、指導して下さった長谷川先生、太鼓財団の皆様、大変お世話になりました。こころよりお礼を申し上げます。感謝！最感謝！

演奏メンバー 陳怡蓁

この度、日本太鼓財団のおかげで日本へ行くことはとても得難い機会です。私達は台湾で優勝しましたが少しも気を緩める事はできません。

今回のコンクールで本物の太鼓の味がわかりました。日本チームの皆さんの自信に満ちあふれた素晴らしい演技を見て、日本に来られない方は惜しいなと思いました。太鼓を通して、色々な方と知り合って、物事に対する態度や演奏方法など、台湾と日本に違いがあり、見習わなければならないと思いました。

ジュニアコンクールと言う素晴らしい舞台上で演奏できること、とても幸せです。

自分の人生の1ページが増えました。本当に勉強になりました。日本の方々の太鼓に対する情熱を見て、自分も見習いたく思いました。しかし、思うだけではいけません、長谷川先生の教えのように打ち込みのみです、練習！練習！一生懸命頑張ります。今後も太鼓を続けながら、太鼓の魅力をたくさんの人に伝えたいと思います。

日本太鼓財団の完璧なスケジュール、同行して下さった方々のお陰で素晴らしい舞台に立つことができました。感謝いたします。有り難うございました。



(クリチーバ若葉太鼓)



(天祥太鼓団)



(みんなで記念撮影)

## 東北太鼓連合が発足

東北6県の各支部では、これまでの懇親会的意味合いの強かった東北地区太鼓連絡協議会を発展的に解消し、5月13日に新たに東北太鼓連合を設立しました。これは、昨年の大震災により被害を受けた太鼓団体への日本財団からの太鼓支援をきっかけに誕生したものです。

今後は、従来にもまして交流を深めていくとともに新たに東北地区のジュニアコンクールを開催する等、ジュニアの育成・強化を重点に事業を進めていくとのことです。

連合の最初の事業として7月1日に宮城県登米市において「東日本復興支援感謝太鼓まつり」が開催されました。なお、連合の概要は次の通りです。

役員	会長	渡部 世一 (福島県支部長・福島民報社会長)
	副会長	久保 泰宏 (宮城県支部長)、齋藤 通夫 (福島県副支部長)
加盟団体	163団体 (青森12、秋田40、山形11、岩手42、宮城13、福島45)	
行事予定	2012年7月1日	東日本復興支援 感謝太鼓まつり(宮城県)
	2012年9月17日	東北太鼓フェスティバル (青森県)
	2013年2月11日	東北ジュニアコンクール (福島県)

## 感謝太鼓まつり開かれる

昨年の東日本大震災により被害を受けた太鼓団体に対し、日本財団から太鼓の支援が行われていることは、これまでも会報で紹介済みですがこのほど青森県、秋田県、山形県、茨城県の25団体に太鼓の贈呈式が行われました。

これですでに贈呈式が終わっている岩手県、宮城県、福島県と合わせ62団体に対し、合計486個(新規製作351個、修理135個)金額にして1億5,100万円の支援が行われたこととなります。

今回の東北各県への支援を受けて5月に発足した東北太鼓連合では、これに感謝する意味で連合設立後の最初の事業として「東日本復興支援感謝太鼓まつり」を去る7月1日に宮城県登米市の登米総合体育館において開催しました。

当日は、支援を受けた東北各県から20団体と各県の合同チームが支援された太鼓を持ち寄り集結し、感謝と復興の願いを込めて演奏を行いました。

雨が心配された天気ではありましたが1,700名ものお客様が集まり、6時間にも及ぶ演奏にもかかわらず終演まで多くの人が聞き入っていらっしゃいました。会場の外には、20軒近い露店も出店し、昼食時には屋外での演奏も行われる等、終日、太鼓祭りの様相を呈していました。



(太鼓の贈呈式)

## 太鼓仲間からの支援金を東北太鼓連合へ贈呈

昨年の東日本大震災に際し、全国の太鼓仲間から被災した太鼓チームに対しての支援金が当財団に寄せられました。当財団では支援金の使途については、多くの善意を太鼓等の形あるもので支援したいとの計画でした。しかし、ほぼ同時期に姉妹財団である日本音楽財団が所有していたヴァイオリンを売却し、売却金額約12億円の寄付を受けた日本財団では、これをお祭り復興基金として太鼓の支援にあてることとしました。その結果、最後の贈呈式が去る7月1日、宮城県登米市での「感謝太鼓まつり」の会場にて行われました。今回の太鼓支援を受けた東北6県の支部ではこれを契機にさらに太鼓活動を活発化させるため「東北太鼓連合」を設立されました。

これらのことから当財団では、理事会、運営委員会の了承を得て、全国から寄せられた太鼓仲間の支援金の全額11,034,364円を東北太鼓連合に贈り、太鼓活動を通じて復興の一助としていただくべく7月1日に贈呈式を行いました。式は、東北太鼓連合としての最初の事業「東日本復興支援感謝太鼓まつり」の行われた宮城県登米市の会場にて東北地区以外の太鼓関係者も出席する中、当財団塩見理事長から東北太鼓連合の渡部会長に贈られ、渡部会長から全国の関係者への謝辞と今後の活動への抱負が述べられました。



(合同演奏の様子)

## 各地で太鼓講習会を開催！

### ＜第53回日本太鼓支部講習会(道西)＞

5月26・27日(土日)、北海道道西支部主催による支部講習会が岩見沢市の「ほっとかん」で行われました。今回は第5期更新研修会も行われ、北海道をはじめ、28名が参加しました。開会式では田中浩照支部長、当財団より中西常務からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。

新緑の北海道で受講生は熱心に2日間の講習会を受けていました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫氏  
5級基本講座 橋本 光司氏  
縮太鼓講座 渡辺 洋一氏
- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。  
5級基本講座 14名受験 14名合格  
縮太鼓講座 3名受験 3名合格

### ＜第44回日本太鼓全国講習会(岩手)＞

7月21・22日(土日)、岩手県支部主管の全国講習会を、「大東コミュニティセンター」にて実施いたしました。同時開催した公認指導員更新研修会と併せ、地元岩手県をはじめ、全国10県から186名が受講しました。

開会式では、財団を代表して塩見理事長、岩手県及川修一支部長、一関市役所大東支所より佐藤甲子夫支所長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、講習会がスタートしました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫氏  
3級基本講座 安江 信寿氏  
4級基本講座 渡辺徳太郎氏  
5級基本講座 松枝 明美氏
- 専門講座講師  
大太鼓講座 龍 連山氏  
蘭導太鼓講座 鈴木 孝喜氏  
八丈太鼓講座 菊池 修氏
- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。  
1級検定 4名受験 4名合格  
2級検定 13名受験 10名合格(5名認定)  
3級検定 24名受験 24名合格  
4級検定 6名受験 6名合格  
5級検定 48名受験 48名合格



(蘭導講座の様子)

### ＜第54回日本太鼓支部講習会(長野)＞

6月9・10日(土日)、長野県支部主催による支部講習会が「箕輪町文化センター」で行われました。今回は長野県をはじめ、79名が参加しました。開会式では古屋支部長から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。

初夏の長野で受講生は熱心に2日間の講習会を受けていました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫氏  
3級基本講座 安江 信寿氏  
4級基本講座 若山 雷門氏  
5級基本講座 松枝 明美氏
- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。  
3級基本講座 17名受験 17名合格  
4級基本講座 18名受験 18名合格  
5級基本講座 39名受験 39名合格

### 第5期公認指導員更新研修会を開催

3年に1度の公認指導員更新研修会が第53回日本太鼓支部講習会(道西)、第44回日本太鼓全国講習会(岩手)に併せて行われ、全国から北海道には8名、岩手には66名の公認指導員が参加しました。

参加した皆様には、太鼓の歴史や成り立ち、また4月より公益財団法人となった当財団の変更点などについて受講していただきました。指導者の心構えや指導方法の基本などに立ち返るよい機会となったのではないのでしょうか。今回設定した浅野太鼓の浅野昭利氏による講義には「太鼓の作り方がよくわかった。チームの皆にも教えたい」などの声が寄せられました。

今後、3回目を11月に岐阜県郡上市、4回目を来年2月に宮崎県新富町で開催いたします。

- ◇更新研修会の講座  
「太鼓の生い立ちと今後」浅野 昭利氏  
「公益財団法人への移行について」中西 由郎 常務  
「基本打法について」古屋 邦夫氏



(浅野講師による講座の様子)

### 日程変更のお知らせ

第46回日本太鼓全国講習会&更新研修会の日程が2013年3月2・3日(土日)(宮崎県新富町)から2月23・24日(土日)(同場所)に変更となりました。ご周知の程、よろしく申し上げます。

## 成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月14・15日(土日)、千葉県成田市において例年20万人もの人が訪れる「成田太鼓祭」が開催されました。

14日はあいにくの雨で参道でのイベントが中止されましたが、翌15日は雨も上がり千葉県支部、千葉県太鼓連盟主催、当財団の共催により「全国太鼓情報発信基地」のブースを設置し太鼓を紹介致しました。情報発信基地では、パネルを展示したほか、浅野太鼓のご協力を得て大太鼓をお客様に実際に叩いてもらうコーナーを設け、多くの方々が太鼓に親しまれていました。特に外国人やお子さんが多くいらっしゃいました。



(太鼓情報発信基地)

## 第14回日本太鼓全国障害者大会 出場チーム決定！！

10月21日(日)静岡県御殿場市の御殿場市民会館にて、第14回日本太鼓全国障害者大会が開催されます。出演団体は全国より28団体が出演致します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

期日：2012年10月21日(日) 11：30開場 12:00開演 17:00終演予定

会場：御殿場市民会館(静岡県御殿場市) 入場：無料

出演28団体は以下の通りです。(順不同)

やまびこ太鼓(福島)、新潟ろうあ万代太鼓 豊龍会(新潟)、鼓友 夢光組(富山)、石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓、社会福祉法人南陽園 ふれあい和太鼓(石川)、諏訪養どんどん太鼓、すみれ太鼓、御諏訪太鼓保存会 湖響龍夢(以上、長野)、甲州ろうあ太鼓(山梨)、富岳太鼓竜神組、金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム、金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム、静岡県立静岡北特別支援学校北龍太鼓、静岡ハンディキャップ太鼓の会、遠州袋井太鼓保存会 スマイルズ、伊豆医療福祉センター どんつく(以上、静岡)、恵那のまつり太鼓、ファミリーユニット童鼓(以上、岐阜)、京都府立与謝の海養護学校寄宿舎(京都)、豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」(大阪)、神戸ろう太鼓集団 鼓神(兵庫)、NPO法人視聴覚二重障害者福祉センター すまいる(大阪)、三田市身体障害者福祉協議会 視覚障害者部会 ひとみ太鼓(兵庫)、広島市中途失聴・難聴者協会文化部和太鼓 天手鼓舞(広島)、四国中央いわくら太鼓ろうあ部会 鼓龍会(愛媛)、社会福祉法人同朋福祉会あそかの園 同朋太鼓(山口)、大分県社会福祉事業団 大分県糸口学園糸口太鼓(大分)、あだたら和太鼓(福島)

## 各種会議を開催

第1回理事会並びに第1回評議員会が6月18日(月)に開催され、次の事項が審議、承認されました。

### <理事会>

1. 「旧法人の2011年度事業報告及び決算について」
2. 「職員給与規程の一部改正について」
3. 「次回評議員会の開催について」

### <評議員会>

1. 「旧法人の2011年度事業報告及び決算について」
2. 「理事、監事及び評議員の報酬等支給基準規程の一部改正について」

7月5日(木)に、第13回代議員会と第42回運営委員会・第37回技術委員会の合同会議が開催されました。これまで会場となったお台場の船の科学館が閉館中のため、全日本太鼓連盟を設立した際の会場である港区三田の笹川記念会館での開催となりました。

審議、承認された事項は次の通りです。

### <代議員会>

1. 「2011年度事業報告及び決算報告について」

2. 「2012年度事業計画及び収支予算について」
3. 「その他について」

### 「東日本大震災復興支援について」

当財団に集まった支援金約1,100万円を「東北太鼓連合」に対して贈呈したことに対する謝辞が、東北6県を代表して渡部東北太鼓連合会長(福島民報会長)から謝辞が述べられました。(5頁参照)

### <運営委員会・技術委員会>

1. 「2011年度事業報告及び決算報告について」
2. 「2012年度事業計画及び予算案について」
  - ① 「日本太鼓助成金交付事業の追加決定について」
  - ② 「日本太鼓ジュニアコンクールについて」
  - ③ 「日本太鼓全国障害者大会について」
  - ④ 「日本太鼓シニアコンクールについて」
3. 「日本太鼓資格認定制度について」
  - ① 「公認指導員の認定について」
  - ② 「公認指導員第5期更新研修会について」
4. その他  
「東日本大震災復興支援について」

## 事務局だより

### 第16回日本太鼓全国フェスティバル

日時：2012年9月30日(日)開場12:30 開演13:00 終演予定15:30 (予定)  
会場：郡山ユラックス熱海(郡山市熱海町2-148) Tel:024-984-2800  
主催：(公財)日本太鼓財団 共催：福島民報社 主管：東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部  
入場料：前売券2,500円 当日券3,000円(来賓席を除き自由席)  
\*「チケットぴあ」にて取扱い中 Tel.0570-02-9999 Pコード：174-326  
出演団体：福島県合同チーム、蘭導(秋田)、高野右吉と秩父社中(埼玉)、宮城県合同チーム、  
御諏訪太鼓保存会(長野)、富岳太鼓竜神組(静岡)、輪島・和太鼓虎之介(石川)、  
八丈太鼓六人会(東京)、長谷川義と豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)、  
気仙町けんか七夕保存会(岩手)、手取亢龍太鼓保存会(石川)  
詳細は、当財団ホームページをご覧ください。事務局までお問合せ下さい。(Tel.03-6229-5577)

### 第45回日本太鼓全国講習会(岐阜県郡上市) \*公認指導員更新研修会 同時開催

期日：2012年11月17・18日(土日) 主管：日本太鼓財団岐阜県支部 会場：ホテル郡上八幡(岐阜県郡上市)  
専門講座  
三ツ打太鼓講座(複式単打法) 河合 睦夫氏(富山県)  
大江戸助六太鼓講座(単式複打法) 小林 正道氏(東京都)  
秩父屋台囃子講座(複式複打法) 高野 右吉氏(埼玉県)  
基本講座 総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)  
3級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)  
4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)  
5級基本講座(初心者講座) 景山 道隆氏(1級公認指導員)、渡辺 洋一氏(1級公認指導員)  
申込先： (公財)日本太鼓財団 日本太鼓財団岐阜県支部  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 事務局 服部 勝利  
Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580 携帯 090-7029-2484  
締切：10月31日(水)(当日到着分まで有効)

### 第9回日本太鼓シニアコンクール出演者募集!

日時：2012年11月25日(日) 開演14:00(予定)  
\*午前中に日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会が行われます。  
会場：七尾サンライフプラザ(石川県七尾市本府中町ヲ部38)  
主催：(公財)日本太鼓財団、(社)石川県太鼓連盟、(財)石川県芸術文化協会、北國新聞社  
出場資格 ①個人が審査の対象となる場合は、大会当日満60歳以上であること。  
②団体が審査の対象となる場合は、全員が大会当日満60歳以上であること。  
演奏時間：3分以上5分未満 費用：全ての費用は出場者の自己負担(参加料は不要)  
表彰：名人位、準名人、特別賞など  
申込：(公財)日本太鼓財団 〒107-0052 港区赤坂1-2-2  
Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580 メール：info@nippon-taiko.or.jp  
申込締切：2012年9月20日(木) 当日消印有効

### 助成金事業追加決定

今年度の助成金交付事業について、追加募集しておりましたが、7月5日(木)に開催されました第42回運営委員会において次の事業が決定いたしました。これをもって、予定の35事業が全て確定いたしました。なお、来年度の助成金交付事業の締切は本年12月末日までとなりますので、期限内にご申請ください。

2012年6月24日(日)群馬県太鼓連合結成10周年記念演奏会(みかぼみらい館)群馬県支部  
2012年7月21~22日(土日)能登太鼓研究会(のとふれあい文化センター)石川県支部  
2012年11月4日(日)第5回台湾太鼓フェスティバル参加・交流事業(台湾・員林演芸館)宮崎県支部  
2012年11月11日(日)日本太鼓ジュニアコンクール富山県大会(小矢部市クロスランド小矢部)富山県支部  
2012年11月25日(日)和太鼓ヤングフェスティバルin兵庫(三田市郷の音ホール)兵庫県支部  
2012年11月25日(日)日本太鼓ジュニアコンクール大阪府予選大会(大阪府立浪速区民センター)大阪府支部